# 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | : | ノックスドール700 |
| 会社名 | : | 株式会社創新 |
| 住所 | : | 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階 |
| 電話番号 | : | 03-3918-3100 |
| FAX番号 | : | 03-3918-3511 |
| 推奨用途 | : | 浸透性防錆剤(キャビティワックス) |
| 使用上の制限 | : | 業務用使用に限定 |

## 2. 危険有害性の要約

**GHS分類**

| | |
|---|---|
| 物理化学的危険性 | GHS分類に該当する項目はない |
| 健康に対する有害性 | |
| 皮膚感作性 | 区分1 |
| 環境に対する有害性 | GHS分類に該当する項目はない |

**GHSラベル要素**

**絵表示またはシンボル**

| | |
|---|---|
| **注意喚起語** | 警告 |
| **危険有害性情報** | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| **注意書き** | |
| **安全対策** | 子供の手の届かないところに置くこと。<br>粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。<br>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。<br>保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 |
| **応急措置** | 皮膚に付着した場合:多量の水／石鹸で洗うこと。<br>皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること。<br>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 |
| **保管** | – |
| **廃棄** | 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。 |

## 3. 組成及び成分情報

**化学物質・混合物の区別**　:　混合物

**成分**

| 化学名 | 含有率 | CAS番号 | 化審法番号 | 安衛法 | | | 化管毒劇 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 表示 | がん原 | 特化則 | 化管法 |

| | | | | 通知 | 皮膚障害 | 有機則 | 毒劇法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 溶剤精製重質パラフィン石油留分[*1] | 50-55% | 64741-88-4 | 対象外 | 該当 | 非該当[*2] | 非該当 | 非該当 |
| | | | | 該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 溶剤脱ワックス重質パラフィン系石油留分[*1] | 15-25% | 64742-65-0 | 対象外 | 該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| | | | | 該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 石油スルホン酸カルシウム | 10-15% | 61789-86-4 | 9-1732 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| | | | | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| トール油脂肪酸、エチレングリコール、グリセロール、イソフタル酸、ペンタエリスリトール、プロピレングリコール重縮合物 | 5-10% | 68333-62-0 | 7-710 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| | | | | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |

*1：鉱油として規制　　*2：高度精製油のためがん原性物質は非該当

## 4. 応急措置

**吸入した場合**
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合**
多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

**眼に入った場合**
直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

**消火剤**
粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、散水

**使ってはならない消火剤**
棒状注水

**特有の危険有害性**
燃焼により有毒な蒸気を発生する時がある。

**特有の消火方法**
自給式呼吸器などの保護具を使用する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
本品は燃焼はするが、引火性ではない。

**消火を行う者の保護**
消火活動では適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏洩時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**
流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

**環境に対する注意事項**
流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

**回収**
適切な吸着剤に吸着させ、あるいはスコップ等ですくい取り、適切な容器に回収する。

**中和**
「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

**二次災害の防止**
こぼれた場所は滑りやすいために注意する。

## 7. 取扱い上及び保管上の注意

**取扱い**

**技術的対策(局所排気、全体換気等)**

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

**取扱者のばく露防止の記載**

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
皮膚・眼への接触を避ける。

**接触回避**

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

**衛生対策**

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

**保管**

**安全な保管条件**

換気の良い場所で、涼しいところに、容器を密閉し保管する。
直射日光を避けて保管する。
施錠して訪韓する。

**安全な容器包装材料**

オリジナルの容器に保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | | | |
|---|---|---|---|
| **安衛法** | 管理濃度 | 設定されていない | |
| | 濃度基準値設定物質 | 設定されていない | |
| **許容濃度** | | | |
| | 日本産業衛生学会 | 鉱油ミスト | 3mg/m$^3$ |
| | ACGIH | 設定されていない | |

**保護具**

| | |
|---|---|
| 呼吸用保護具 | 換気が不十分な場合は、フィルター付きの呼吸用保護具を着用する。 |
| 手の保護具 | 直接接触や飛沫の恐れがある場合、保護手袋を使用する。ニトリルゴム製の保護手袋を推奨する。 |
| 眼の保護具 | 安全眼鏡、安全ゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具 | 長袖作業衣 |

---

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| **物理的状態** | 高粘度ワックス |
| **色** | 黄褐色 |
| **臭い** | 微かな臭い |
| **融点／凝固点** | -40℃ |
| **沸点又は初留点及び沸点範囲** | ＞200℃ |
| **可燃性** | 可燃性 |
| **爆発下限界及び爆発上限界** | 情報なし |
| **引火点** | ＞130℃ |
| **自然発火点** | ＞200℃ |
| **分解温度** | 情報なし |
| **pH** | 情報なし |
| **動粘性率** | 75 -110 mm$^2$/s ( 40 ℃) |
| **溶解性** 水に対して | 不溶 |
| **n-オクタノール／水分配係数** | 情報なし |
| **蒸気圧** | ＜0.1hPa(20℃) |
| **密度及び／又は相対密度** | 0.91-0.95g/cm$^3$ (20℃) |
| **相対ガス密度** | 情報なし |
| **粒子特性** | 情報なし |
| **その他データ　VOC** | ＜28g/L |

---

## 10. 安定性及び反応性

**反応性**
情報なし
**化学的安定性**
通常の取り扱いでは安定。
**危険有害反応可能性**
7項「取扱い上及び保管上の注意」に記載の条件下では安定
**避けるべき条件**
情報なし
**混触危険物質**
強酸、強塩基、強酸化剤、強還元剤
**危険有害な分解生成物**
通常の条件下で予想される危険有害な分解生成物はない。

## 11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下のとおりである。

**急性毒性**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 経口 | 溶剤精製重質パラフィン石油留分 | $LD_{50}$ | ラット | ＞2000mg/kg |
| | 溶剤脱ワックス重質パラフィン系石油留分 | $LD_{50}$ | ラット | ＞5000mg/kg |
| 経皮 | 溶剤精製重質パラフィン石油留分 | $LD_{50}$ | ラット | ＞2000mg/kg |
| | 溶剤脱ワックス重質パラフィン系石油留分 | $LD_{50}$ | ウサギ | ＞5000mg/kg |
| 吸入(ミスト) | 溶剤脱ワックス重質パラフィン系石油留分 | $LC_{50}$ | ラット（ミスト） | ＞5.5mg/L |

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**　利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**　利用可能なデータに基づくと 区分2
**呼吸器感作性**　利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
**皮膚感作性**　アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。
**生殖細胞変異原性**　化学構造は変異原性を示唆していない。
**発がん性**　発がんの危険性はない。
**生殖毒性**　化学構造は生殖毒性を示唆していない。
**特定標的臓器毒性　単回ばく露**　利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
**特定標的臓器毒性　反復ばく露**　利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
**誤えん有害性**　区分に該当しない

## 12. 環境影響情報

製品としての環境有害性情報はない、成分の環境有害性情報は以下のとおりである。

**生体毒性**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 急性 | 魚類 | 溶剤精製重質パラフィン石油留分 | $LC_{50}$ | ニジマス | ＞100mg/L |
| | 藻類 | 溶剤精製重質パラフィン石油留分 | NOEC | 緑藻類 | ＞100mg/L |
| 慢性 | | 情報なし | | | |

**残留性・分解性**　易分解性ではない。
**生体蓄積性**　生物蓄積性の潜在性はある。
**土壌中の移動性**　情報なし
**オゾン層への有害性**　易分解性ではない。

## 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物**
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
**汚染容器及び包装**
内容物を完全に除去した後に処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

**国際規制**

| | |
|---|---|
| **海上輸送 :** | IMOの規定に従う。 |
| **国連番号** | 該当しない |
| **品名** | - |
| **国連分類** | - |
| **容器等級** | - |
| **海洋汚染物質** | - |
| **航空輸送 :** | ICAO／IATAの規定に従う。 |
| **国連番号** | 該当しない |
| **品名** | - |
| **国連分類** | - |
| **副次危険性** | - |
| **容器等級** | - |

**緊急時応急措置指針番号(NAERG)** -

**国内規制**

| | |
|---|---|
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従う |
| 航空規制情報 | 航空法の規定に従う |
| 陸上規制性情報 | 消防法の規定に従う |

**その他**

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

---

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| **化審法** | 優先評価化学物質 | 非該当 |
| **化学物質排出管理促進法** | 第一種指定化学物質 | 非該当 |
| **労働安全衛生法** | 通知・表示義務物質 | 鉱油 |
| | 有機則 | 非該当 |
| | 特化則 | 非該当 |
| | がん原性物質 | 非該当 |
| | 皮膚等障害化学物質 | 非該当 |
| | 濃度基準設定物質 | 非該当 |
| **毒物及び劇物取締法** | | 非該当 |
| **消防法** | 危険物第4類 第三石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ | |

---

## 16. その他情報

Auson AB SDS 17/08/2024 Version 20.0
GHS政府分類
令和6年度施行安衛法皮膚等障害化学物質規制に伴う見直し
令和6年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し
令和7年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し
令和7年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し
令和8年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し
JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法'-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」に対応

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。 このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。